

Niigata Award News

(食の新潟国際賞財団通信)



Niigata Award

2015/9/1 第21号

第4回食の新潟国際賞応募が始まりました。



正賞「シュプリングン」

正賞として授与されるモニュメントは、東京藝術大学学長 宮田亮平氏によって制作されました。(第1回～第3回)

第4回食の新潟国際賞の募集要項が決定し、募集が開始されました。

今回は第3回に引き続き本賞、佐野藤三郎特別賞、21世紀希望賞の3部門で募集しており、**応募の締め切りは平成27年12月25日(金)必着**となっています。

是非多くの方からの応募と推薦がされますよう皆様の御協力とご紹介そして応募をお待ちいたしております。

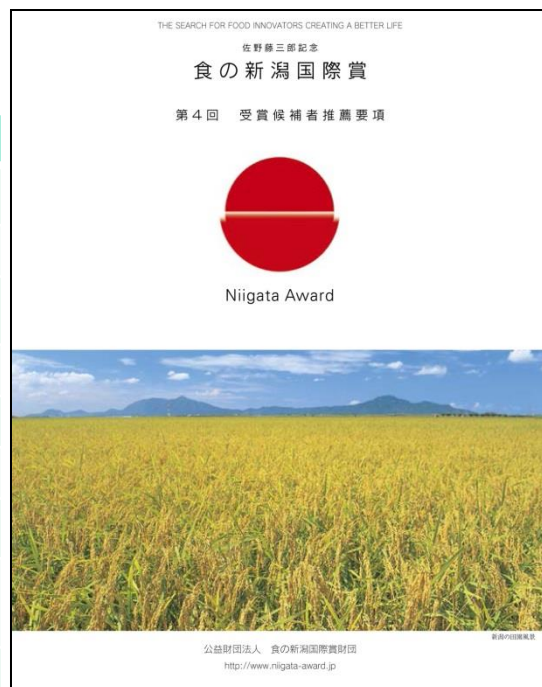
食の新潟国際賞のテーマ

基本テーマは「食と生命」です。

食の量と質を高め、健康における食の役割を追求し、食を通じて世界の人々の生命を救い、暮らしを向上させ、福祉と平和に大きく貢献した食の分野の業績(個人・グループ・団体)を顕彰します。

第4期選考委員のご紹介 (50音順)

職名	氏名	所属・職名
委員長	唐木 英明	(公財)食の安全・安心財団理事長 東京大学 名誉教授
委員	赤阪 清隆	(公財)フォーリンプレスセンター理事長
委員	石井 勇人	一般社団法人共同通信社 編集委員兼論説委員 日本農政ジャーナリストの会 会長
委員	今野 正義	日本食糧新聞社 代表取締役会長CEO
委員	柴田 明夫	(株)資源・食料問題研究所 代表取締役
委員	生源寺 眞一	名古屋大学大学院生命農学研究科 教授
委員	西澤 直子	石川県立大学生物資源工学研究所 教授 東京大学 名誉教授
委員	引野 肇	中日新聞社 編集委員 日本科学技術ジャーナリスト会議 副会長
委員	平山 征夫	新潟国際情報大学学長



第4回食の新潟国際賞 受賞候補者推薦要項(一部抜粋)

【賞の概略】

”THE SEARCH FOR FOOD-INNOVATORS CREATING A BETTER LIFE”

～ 世界を救う食のイノベーターに光を ～

第4回目となる食の新潟国際賞の推薦が開始されます。

国際賞は今回で4回目となりますが、平成27年9月から同年12月25日(金)迄の期間、日本及び世界のノミネーターに候補者の推薦や自薦をお願いし、「本賞」(賞状、記念工芸品、副賞1,000万円)を原則1件、「佐野藤三郎特別賞」(賞状、記念工芸品、副賞200万円)を原則1件、「21世紀希望賞」(賞状・記念工芸品、副賞100万円)原則2件を表彰するものです。

選定は選考委員会(委員長 唐木英明氏 (公財)食の安全・安心財団理事長・東京大学名誉教授)が受賞候補者を選定し理事会において最終決定されます。

この国際賞は2年に1回顕彰する事業であり、第4回表彰式並びに受賞者記念講演会など表彰事業は平成28年11月に開催される予定です。



第1回食の新潟国際賞受賞者

(左から)

藤森 文啓 氏

(東京家政大学家政学部環境教育学科准教授)

モンティ・パトリック・ジョーンズ 氏

(アフリカ農業研究フォーラム事務局長)

袁 隆平 氏(代理:袁 定陽 氏)

(中国国家雑交水稻作業技術センター主任)



第2回食の新潟国際賞受賞者

(左から)

ンネメカ・イケグオヌ 氏

(スモールホルダーズ財団事務局長)

ジョゼット・シーラン 氏

(世界経済フォーラム副議長・WFP 国連世界食糧計画前事務局長)

梅林 正直 氏

(三重大学名誉教授)



第3回食の新潟国際賞受賞者

(左から)

C.L.ラクシュミパティ・ゴウダ 氏

(国際半乾燥熱帯作物研究所(ICRISAT)副所長)

坪井 達史 氏

(ウガンダ国立作物資源調査研究所 JICA 稲作上級技術アドバイザー)

中井 博之 氏

(新潟大学大学院自然科学研究科 助教)

【選考原則】

1. 地域的、個別的取り組みであっても、世界にとって普遍性を内包している事業であること。
2. 本賞は学術的価値そのものを賞賛する学術賞ではなく、なされた新たな発見や技術の開発が、人々の暮らしの向上に寄与したその範囲とレベルをも勘案して評価します。
3. 長期・持続型の取り組みであり、包括的・統合的な視野をもつ業績であること。

【対象分野】

食における①生産と供給 ②食と健康 ③食と教育を前提とし、各賞の対象を示します。

【各賞について】

1. 本賞(最高賞) 原則1件 賞状、記念工芸品、副賞1,000万円

対象(例示) (これ以外のものについても広く対象とします)

- (1) 利用技術<食品、食料の保存・加工技術など>
 - (2) 生産技術<育種・栽培技術、土地改良、砂漠化防止、灌漑技術、治水など>
 - (3) 流通システム<安定供給システムの開発、貿易ルールの改善など>
 - (4) 食品の安全性<食品中の健康被害要因の立証と除去など>
 - (5) 発展途上国の食の向上<栄養、安全な生活水、給食など>
 - (6) 食品機能による健康増進<食品の健康機能、病気予防の疫学調査など>
 - (7) 食農教育<学校、地域、産業界の教育モデルと実践、国民の自立精神の醸成、技術転移とフォローアップなど>
 - (8) 国際協力<特にNGOによる諸活動など>
 - (9) その他<グローバルな食の安定供給・確保に関する政治的・経済的・社会的・教育的イニシアチブと実践など>
- (特記事項)

原則として、顕著な国際賞(ノーベル賞、世界食糧賞、日本賞、京都賞など)を受賞していない個人、団体を対象とします。

2. 佐野藤三郎特別賞 原則1件 賞状、記念工芸品、副賞200万円

対象分野・活動

- (1) 特に発展途上国の食糧増産・安定供給のための生産・栽培技術の開発や生産基盤の確立に寄与している業績。
- (2) 世界各国・地域で持続可能な農業を核とする自立的な地域モデルの構築に寄与している実績。
- (3) (1)(2)の内容で、高度な国際協力の達成に寄与している業績。

(特記事項)

①佐野藤三郎特別賞は佐野藤三郎氏の不屈の精神と高い志を継承するため、「第二、第三の佐野藤三郎」の出現を期待して設けたものです。現時点での業績価値の評価に加え、その事業を継承する事による意義と可能性の大きさを重要な選考の視点とします。

②原則として、顕著な国際賞(ノーベル賞、世界食糧賞、日本賞、京都賞など)を受賞していない個人、団体を対象とします。

3. 21世紀希望賞 原則2件 賞状、記念工芸品、副賞100万円

対象分野・活動 本賞と同じ。

(特記事項)

①将来的な世界貢献への可能性と実現性をめざした、企業、組織、団体との共同研究、共同開発、実用化試験、実践活動などであり、現時点で十分な成果が得られなくても、今後の発展が十分に期待できるものも対象にします。

②45歳以下の研究者・個人を対象とします。

詳しくは
財団ホームページをご覧ください。

ホームページアドレス(第4回推薦要項のページ)
<http://www.niigata-award.jp/contents/award/application.html>

池田弘氏(新潟経済同友会筆頭代表幹事)が新理事長に就任 —国際賞財団の発展と世界への発信を目指して—

去る6月17日(水)の理事会におきまして古泉肇氏の理事長辞任に伴う理事長選任におきまして、出席理事の満場一致で池田弘(副理事長)氏が新理事長に就任いたしました。

退任した古泉前理事長は財団創設に関わり、2009年3月の財団設立から6年間、理事長として財団の公益法人化、第1回から第3回までの国際賞表彰事業や食と花の世界フォーラムの開催に尽力されました。

理事会では古泉氏に「特別顧問・ファウンダー」の就任を決議し、これまで同様財団の発展と国際賞の普及にご支援とご協力をいただくことになりました。

また、池田新理事長は理事会の席上、これまでの古泉理事長の財団に対する功績を讃え、古泉氏の財団に対する熱い思いと創設精神を忘れず継続してゆくとともに、財団の更なる発展と国際賞の世界に向けた発信に力を尽くしたいと決意を述べました。

新たな役員に五十嵐豊氏(亀田商工会議所会頭)と鈴木伸作氏(財団事務局長)が就任、新体制がスタート

7月16日に東京都において開催された評議員会において6月の理事会において理事辞任を申し出ました、古泉肇理事並びに与田一憲理事に伴う新役員を選任が行われ、新理事に五十嵐豊氏(亀田商工会議所会頭)と鈴木伸作氏(財団事務局長)が選任されました。その後8月の理事会(書面決議)において鈴木伸作氏が財団常務理事に選任されました。なお、与田一憲氏は「参与・ディレクター」として引き続き、財団運営に携わることになりました。

新理事・評議委員名簿 (50音順)

理事

	氏名	所属・役職
理事長	池田 弘	新潟経済同友会筆頭代表幹事
副理事長	篠田 昭	新潟市長
副理事長	田中 通泰	亀田製菓(株)代表取締役会長 CEO
副理事長	吉田 康	(株)ブルボン代表取締役社長
常務理事	鈴木 伸作	(公財)食の新潟国際賞財団 事務局長
理事	五十嵐 豊	亀田商工会議所会頭
理事	石黒 正路	新潟薬科大学副学長
理事	今井 長司	新潟県農業協同組合中央会会長
理事	大坪 研一	新潟大学教授
理事	小田 敏三	新潟日報社代表取締役社長
理事	門脇 基二	新潟大学教授・副学長
理事	齋藤 吉平	新潟県酒造組合顧問
理事	佐藤 功	佐藤食品工業(株)取締役会長
理事	高橋 秀松	新潟商工会議所副会頭
理事	中山 輝也	(株)キタック代表取締役社長
理事	山我 森實	亀田郷土地改良区理事長

監事

氏名	所属・役職
五十嵐 祐司	東邦産業(株)代表取締役社長
小原 清文	第四銀行 営業本部兼地方創生推進本部 コンサルティング推進部長
野崎 正博	一正蒲鉾(株)代表取締役社長

評議員

氏名	所属・役職
安斎 隆	セブン銀行代表取締役会長
唐木 英明	(公財)食の安全・安心財団理事長
北原 保雄	新潟産業大学学長
小泉 武夫	東京農業大学名誉教授
坂本 元子	和洋女子大学評議員
寺田 弘	新潟薬科大学学長
高橋 姿	新潟大学学長
辻井 博	京都大学名誉教授
並木 富士雄	第四銀行取締役頭取
服部 幸應	(学)服部学園理事長
平山 征夫	新潟国際情報大学学長
山口 寛治	奥野総合法律事務所特別顧問
山本 正治	新潟医療福祉大学学長

特別顧問・ファウンダー

氏名	所属・役職
古泉 肇	亀田商工会議所顧問

相談役

氏名	所属・役職
武田 修三郎	日本産学フォーラム ファウンディングディレクター
栗山 清	(株)栗山米菓 相談役

古泉理事長退任のご挨拶



理事長退任にあたり一言御礼の御挨拶を申し上げます。

この国際賞財団は多くの方のご理解と御協力により2009年3月に一般財団法人として創設されました。

私自身、食品産業に永年携わりながら食を通じての命の尊厳や地域固有の伝統や文化について思いを馳せてまいりました。

当財団の誕生は2005年に、都市機能の集積だけを目的としたまちづくりでなく、広大な田園や水と緑など新潟地域の持つ豊かな自然環境や、地域固有の伝統文化を生かしたまちづくりの「政令指定都市」形成を目指すという新潟市の政令指定都市誕生の同じ年に篠田市長を会長とする「食と花の世界フォーラム組織委員会」が産学官の英知を結集して開催されました。

この組織を母体にして、世界の「食」に貢献した人、事業を顕彰し、持続可能な社会づくりにつなげようと「食の新潟国際賞」が構想され、県内の産業界のご寄付を中心に新潟市当局の人的・物的支援を基に「食の新潟国際賞財団」を設立いたしました。

国際賞の冠には「佐野藤三郎」氏の名前を拝しました。

言うまでもなく佐野さんは腰までつかる湿地で農民は水と土との壮絶な戦いを強いられた亀田郷地域を日本一と言われる美田に変貌させるとともに、都市と農村都の融合にも取り組んだ人でもありました。

また、中国政府の要請により中国三江平原の農業プロジェクトに携わり、日中国際協力の先駆者として食分野で世界に貢献した新潟の誇るべき偉大な先人であります。

2012年9月に財団訪中団に参加して三江平原が中国の食糧基地としての重要な役割を果たしているのを目の当たりにし、佐野さんの名前を冠にすることに間違いはなかったと確信することができました。

国際賞表彰事業も昨年で第3回を数え、賞の選考委員には国内でも食分野において著名な方々から御就任いただき、これまで国際賞にふさわしい素晴らしい信念と業績をあげられた9名の方を表彰させて頂きました。

国際賞の広がりと知名度はまだ満足するまでには至っておりませんが、3回の国際賞を通じて、賞の果す役割と意味は確実に広がっていると感じ、創設に携わった一人として、これまで一定の成果を得たものと考えております。

このグローバルな時代のニーズに応え、食の果す役割と食問題の解決への重要性をこの賞を通じて国内外により発信するためには新しい体制と豊かな発想、そして行動が必要です。

その意味でも池田さんから新理事長に御就任いただき、篠田市長さん、吉田副理事長、田中副理事長そして皆様のご支援御協力で財団の新しい出発ができますことを大変うれしく思います。

私も「特別顧問・ファウンダー」という身に余る光栄な職名をいただき、これまで以上に財団と国際賞の発展と普及のためにがんばることをお誓いし御礼とご挨拶といたします。

長い間有り難うございました。

(平成27年6月17日 平成27年度第1回理事会に於いて)

スペシャルサンクス 〈順不同〉

特別会員

亀田製菓株式会社 株式会社ブルボン 亀田郷土地改良区 新潟県農業協同組合中央会
学校法人新潟総合学園 第四銀行 一正蒲鉾株式会社 佐藤食品工業株式会社 株式会
社栗山米菓 株式会社新潟日報社 株式会社新宣 株式会社エイケイ 三菱商事株式会社
新潟支店 NST 株式会社新潟クボタ 株式会社電通東日本新潟支社 亀田商工会議所
にいがた22の会 株式会社日本食糧新聞社

正会員

株式会社第一印刷所 新潟県信用組合 株式会社本間組 ホテル日航新潟
石本酒造株式会社 株式会社ミカサ 神山物産株式会社 株式会社山忠
丸七商事株式会社 大東産業株式会社 日本精機株式会社 藤屋段ボール株
式会社 新潟工科大学産学交流会 株式会社タケショー 株式会社新潟博報堂
BSN新潟放送 新潟陸運株式会社 東邦産業株式会社 医療法人愛仁会亀
田第一病院 株式会社新潟食品運輸 山崎醸造株式会社 月島食品工業株式
会社 松田産業株式会社 麒麟山酒造株式会社 株式会社鳥梅 株式会社
フジテレビジョン 日本製粉株式会社関東支店 日本甜菜製糖株式会社 株式
会社山由製作所 新潟万代島総合企画株式会社 株式会社キタック 鍋林株
式会社 北越工業株式会社 丸榮製粉株式会社 株式会社鈴木コーヒー
TeNYテレビ新潟 株式会社栗田工務店 三和薬品株式会社 株式会社藤井
商店 セツカートン株式会社新潟工場 ハセガワ化成工業株式会社 株式
会社加島屋 株式会社日本フードリンク 株式会社アド・メディック 株式会社新
潟テレビ21 新潟市農業協同組合

個人会員

藤島 安之

大越 齋

和田 充彦

河内 直史

佐野 正人

食の新潟応援団(賛助会)募集中!

食を通じて飢餓や貧困などに苦しむ世界の現状に目を向けると、日本にいる私たちにも食の危機が及びつつあり、世界の人々の命が一つにつながっていることがわかります。

食と私たちの命を守る本財団の事業に賛同し応援して下さる皆様を募集しています。

詳しくはホームページをご覧ください。アドレス <http://www.niigata-award.jp/jp/join/>